



主力製品のディスプレイ

- 本社所在地：埼玉県川越市下赤坂736-2
- 事業概要：印刷紙器及びディスプレイ・紙什器
- 常時使用する従業員：156名（2024年4月期）
- 現在の売上高：39億円（2024年4月期）
- 法人番号：1030001056995
- Web： <https://www.shinwaseisakusyo.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
山崎 康成

技術をつなぎ、未来をつくる

私は二代目社長として入社し、従業員30名の会社を260名規模へと成長させてきました。父の代のパッケージ事業に加え、ディスプレイ事業を立ち上げ、順調に拡大してきました。しかし今、金利や原材料費の高騰、設備の老朽化といった課題に直面しています。それでも、当社には長年培ってきた設計・企画・製造の技術があります。モノづくりの未来を守るために、私たちは立ち止まらず投資を続け、次世代へ技術と価値をつなぎ、地域と社会に貢献する「100億企業」を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

化粧品等の成長分野のディスプレイ・パッケージ製造に積極的に取り組み、2032年の売上高100億円達成に向け、年率20%程度の成長を目指す。

課題

- ・製造工程に複数のボトルネックが存在し、生産効率が低下している。
- ・原材料費の高騰や人手不足が進む中、今後の事業拡大には、省力化投資による労働生産性の高い生産体制の構築が不可欠となっている。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・設計品質の向上による高付加価値化
カット精度や速度の課題を設備投資で解消し、試作の品質と納期対応力を向上。デザインコンペでの競争力を高め、受注率を改善する。
- ・ボトルネックの解消による生産性向上
工程全体の生産能力を強化し、受注対応力を高めることで機会損失を防ぎ、売上拡大につなげる。

実施体制

- ・設計・製造部門の連携強化
設計品質と生産効率の両面で連携を強化し、試作・量産体制を最適化。
- ・効果検証と改善の継続実施
導入後も定期的に成果を検証し、課題があれば迅速に改善を行う体制を構築。

売上高100億円実現の目標と課題

当社はこれまで、パッケージおよびディスプレイの企画・設計・製造を一貫して手がける体制を強みに、売場や販促現場で求められる「見せ方」や「伝え方」への最適な提案を行い、取引先の販売支援やブランド価値の向上に貢献してまいりました。長年にわたって蓄積された技術力と柔軟な対応力は、当社の最大の資産であり、信頼されるモノづくり企業としての地位を築いています。また、再生可能素材の活用や製造工程での廃材削減など、環境に配慮した取り組みにも力を入れ、持続可能な社会の実現に向けた責任ある経営にも注力してきました。

一方で、市場環境は急激に変化しており、顧客ニーズの多様化・短納期化・高品質化がますます進んでいます。こうした要請に迅速かつ的確に応えるためには、これまで以上に生産能力の強化と生産性の向上が不可欠です。特に、老朽化した設備による生産の停滞や外注対応の非効率さは、当社の持つポテンシャルを活かしきれていない要因となっています。

そのため当社は今回、戦略的な設備投資を実施し、製造工程におけるボトルネックの解消と高精度な試作・設計環境の整備を進めます。これにより、より安定的かつスピーディな供給体制を構築し、受注機会の最大化と生産効率の向上を図ります。中長期的には、既存市場の深耕に加えて、新たな業種やチャネルへの展開も視野に入れ、持続的な売上成長を実現していきます。地元企業としての責任を果たしながら、社員・取引先・地域社会すべてにとって誇れる企業を目指し、売上高100億円の達成に向けた歩みを着実に進めてまいります。

